

【概要】

2018年度 フラット35利用者調査

I 調査の概要

フラット35を利用された方の属性、住宅の概要等に関して、2018年4月から2019年3月までに買取り又は付保の承認を行った案件(借換えに係るものを除く。)のうち77,680件(2017年度:77,964件)について集計。

本調査はフラット35が創設された2003年10月の翌年度である2004年度から開始しています。

II 調査結果の主なポイント ※<>は、本調査結果の詳細資料中の該当ページ

1 住宅面積が縮小する一方、所要資金は上昇

全ての融資区分において、住宅面積が縮小する一方、所要資金*が上昇している。
<p9、p21>

※注文住宅の建設費と土地取得費を合計した金額。新築購入及び中古住宅の購入価額。

2 年収倍率は、土地付注文住宅以外で緩やかに上昇

土地付注文住宅を除き、年収倍率は、横這い又は緩やかな上昇が続いている。<p13>

3 中古住宅の平均築年数は長期化

中古住宅の平均築年数は、中古戸建、中古マンションともに長期化し、中古戸建は19.3年、中古マンションは23.7年となった。<p19、p20>